

町田ジャーナル

8月25日(火)町田
平成27年(2015年)
第843号

月刊
毎月15日発行(1・8月は25日)

株式会社
発行所

町田ジャーナル社

〒194-0023
東京都町田市旭町2-1-3
編集兼発行人 堀江行人 電話・FAX 042(726)8447

町田市経営診断協会

町田市本町田二九三四・九
電話：(042)723-4664
FAX：(042)723-4664
URL：http://www.mca-consul.jp/

理事長	猿山康
副理事長	兼中井義
専務理事	兼中山俊
理事	荒尾大
理事	太細貞
理事	木下慎
理事	佐々木浩
理事	中澤
監事	鴨田字
監事	田澤

一洋子博治介豊江博継

「リーダー養成塾」のご案内

第1回…人の意見を聴けるリーダー
平成27年9月10日開講予定
第2回…自分の意見を言えるリーダー
平成27年10月8日開講予定
第3回…計画を立てられるリーダー
平成27年11月13日開講予定
詳しくは協会ホームページをご覧ください。

人材育成が経営の急務

町田市経営診断協会理事長

猿山康継



【人材の育成がなによりも重要な時期】

残暑お見舞い申し上げます。東京で35度以上の気温が、八日も続くのは初めてという異常気候の中、経営者・従業員さんの体調管理がとても大事なテーマとなっております。

中小企業をとりまく経営環境は、あいかわらず厳しいものがあり、内閣

府の六月の「景気ウォッチャー調査」では、「街角景気」二カ月連続悪化、「梅雨の悪天候、円安による輸入原材料の価格上昇、などが要因とあげられています。

企業にとっては、自動

努力しかないのが現実であり、業績を向上させるには、なんと云っても現有人材の頑張りや成長にかかっています。自社の人材を教育し成長させる事が、経営者の最優先課題ではないでしょうか。

【社内できない教育の場を作る】

私たち、町田市経営診

断協会は、事業所内で実施するのがむずかしい「チームで知恵を出す訓練」について、大きな教育テーマとして取り組んでいます。

他の会社の人と混じっ

た中で、「意見を聴き」「自己の意見を述べ」「みんなと知恵を出す」訓練は、今年で四年目となり、徐々にその効果も期待されるようになって来ました。

毎年、チームで議論する形式を実施しています。が、議論の内容は、その都度工夫して皆様に体験して頂いています。

参加の皆様がびっくりされるのは、私どもメンバーの専門家が五人十人と参加して、共に検討したり、進め方の指導をしたり、警沢な講師陣となつていくことです。

今年も、九月十日に第一回目を実施。十月八日が二回目、十一月十三日が三回目を実施します。三回を通して参加される方がとても多く、私どもも大いに力が入るところです。町田商工会議所のご協力も得て、廉価に実施しています。参加できる日のみ参加も大歓迎です。また、むさし府中商工会議所でも、同様に内容にて八月二十八日に二回目、九月二十五日に三回目を実施します。お問い合わせは090-1437-8180(猿山(さやま)まで。留守電もいれられます。

【経営計画の重要性】

昨年に引き続き「小規模事業者持続化補助金：50万円」の申請受付が三月、五月、七月とありました。町田商工会議所にて、指導員の方々と共に私ども専門家も応援して、多くの事業者さんが採択されました。

国の施策の基本は「小規模事業者」についても「経営計画」をたてて、しっかりと継続的に事業をして欲しい、というものです。「事業をどうしたい」「そのためには何をやるか」、どのような段取りですか」「なにが足りていて、なにが不足か」などをしっかりと把握するのが「経営計画」です。

私どもが応援する事業者さんでは、当初は「計画」は作成しているが、机の引き出しに入ってしまったケースが多いものです。いかに「社員とともに」①実施方法を考えるか、②進捗管理をして実現させるか、③実現がどこまでできたか評価できるか、などが計画実現のキーポイントです。

【一般社団法人として】

私ども町田市経営診断協会は、36年の歴史をベースに現在では、一般社団法人多摩経営工房としても活動しています。町田では39名、南多摩地区全体で73名ものコンサルタンのチームとなっております。どうぞよろしくお願いたします。